

委員会報告

2021年度、総務発信委員会は各種事業の設営、運営を行うことと、時代にあわせた情報発信を行い、能代青年会議所の認知度向上という二つを目的とした運動を展開してまいりました。

まずは、各種事業の出席状況を把握するために、出欠確認を紙媒体からWeb媒体に移行し、容易な返信環境の構築ですが、Web媒体の出欠は推進してまいりましたが、完全な移行とまではいきませんでした。

そして、4月定例会では、総会、定例会、各種事業における参加率を向上させるためにメンバー一人ひとりの意識向上とJ Cの存在価値を共有するために、2分間スピーチを行いました。経験の長いメンバーと経験の浅いメンバーに分かれ、思いの丈をスピーチで叫んでいただきました。経験の浅いメンバーは経験の長いメンバーの意見を聞いたことで、J Cに対する意識の変化が生まれ、団結力が高まったと考えます。また、8月定例会の家族例会ですが、家族に感謝の気持ちを伝え、出店風にする事で、夏の思い出を作っていたことを目的とした定例会を予定しておりましたが、コロナ禍により中止という形になりました。委員会メンバーで準備をしていただけに残念でした。次に10月定例会では、能代青年会議所の認知度向上を目的として行ってきたSNS投稿の検証と投稿の作成を行いました。投稿に関しては、出だしで遅れてしまい、6月から本格的にSNS投稿を始めました。初めはあまり見てもらえない状態でしたが、様々な手法を試行錯誤し、少しずつですが見てもらえる投稿へと変化してきております。大きな認知度向上とはいきませんが、次年度に繋げる形をつくられたと確信しています。70周年記念誌では、メンバーの思いと5年後、10年後のメンバーにメッセージ伝える内容に作成しました。

最後になりますが、初の委員長で定例会運営では、いたらない点もあったかと思えます。佐藤副理事長をはじめ多くの方に支えられ委員長の担いを遂行できました。委員長を経験し、多くの学びと経験を積むことができました。委員長と共に行動してくれた委員会メンバーへ感謝を申し上げ、委員会報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
1月9日	年次資料・会員名簿作成		—
1月14日	創立70周年備品制作事業		—
4月23日	4月定例会 「J Cが好きだと叫びたい～未来につなぐ架け橋となれ～」	能代市 文化会館 中ホール	—
6月19日	「継承と変革」からなる 創立70周年記念誌発行		—
〃	6月定例会 「創立70周年記念式典」	能代市 文化会館 大ホール	—
10月26日	10月定例会 「SNS活用術～効果ある情報 発信をするために～」	風の松原風力 発電所蓄電池 設備建屋	—
翌1月8日	広報誌「松原」発行		—
通年	総会・定例会運営		—
通年	事業写真・ホームページ管理		—

【定例会出席率】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
71%	67%	57%	67%	71%	78%	67%	中止	78%	60%	57%	67%

決 算

項目	金額
・創立70周年備品制作事業	331,100円
・4月定例会「J Cが好きだと叫びたい～未来につなぐ架け橋となれ～」	11,756円
・「継承と変革」からなる創立70周年記念誌発行	291,500円
・6月定例会「創立70周年記念式典」	0円
・10月定例会「SNS活用術～効果ある情報発信をするために」	3,300円
・広報誌「松原」発行	66,000円
合計	703,656円

次世代育成委員会

委員長 池 端 一 成

委員会報告

2021年度次世代育成委員会は、次世代の自発的な行動と責任の醸成を目的とし、社会人に近い学生を対象に「知る」、「関わる」、「環境構築」の3つのコンセプトで事業を展開してまいりました。

はじめ3月担当例会では、我々が次世代について考えるきっかけを持つべく、県内で積極的に学生とインターン等を取り組まれている株式会社社育藤光学製作所の齊藤大樹氏をお招きし、学生への取り組みやスタンスを学び、学生に対しての見識を深めることができました。次に5月担当例会では、学生との関わりを持つべく地元出身の大学生で構成され地元の魅力を発信している学生団体「まつのき」の皆様をお招きし、「学生に対する情報発信が弱い」、「地元に戻ってこない理由」2つのテーマにトークセッションを行いました。実際に学生の話聞くことで、地域に住む学生へのアプローチ方法や今後取り組むべきことを発見できました。また、地域発展に取り組むことに年齢は関係なく一緒に取り組む環境を整えることができました。

そして事業としては、5月～11月にかけて、高校の授業に組み込まれております「探究学習」に我々が関わる記念事業を継続して行いました。はじめ3校でスタートしましたが、学校の状況、コロナ禍の影響により、能代高校のみとの取り組みになりました。能代高校と取り組んでいく中でもコロナ禍の影響により、学校訪問は3回しかできませんでした。しかしながら、フィールドワーク選定時に訪問できたことにより、例年とは違い民間企業への訪問が増えたこと、能代青年会議所メンバーのところに訪問され、学校訪問の回数が少ない中で一定の効果は得られました。また9月には学校教育である探究学習に関わる上で、我々も生半可な気持ちでは接することはできないため全国の高校生を対象に事業を展開されているNPO法人カタリバをお招きし、学生と関わる上での必要な知識とスキル、スタンスを学びました。学生と接する上での一つの基準を学び、能代青年会議所全体の更なるレベルアップを図ることができました。そして11月担当例会70周年記念発信事業では、能代高校生とZoomを活用し、第一部では探究学習の取り組みを発信、対してJCMメンバーからのアドバイス、第二部ではJCMからのメッセージとして現在までの運動を振り返り、明るい豊かな社会を築いていくために、行動することの大切さを伝えました。学生には探究学習を進める上でのヒントを得ていただくと同時に、自発的な行動と責任の醸成を促すことができたと感じております。また若い力を呼び起こし我々とともに明るい豊かな社会を目指す環境を構築することでできたと感じております。その他、天空の不夜城への参画、渉外事業については、コロナ禍により全て中止となり、協力することができませんでした。

最後に、初委員長、社会人に近い学生を対象とした一連の事業にチャレンジできたことは私にとって大きな財産となりました。当初

から困難を極める内容でしたが、大塚副理事長はじめ委員メンバー、そして多くの方に支えられ成長させていただきました。チャレンジできる環境を整えていただきました伊藤理事長、支えていただいた大塚副理事長はじめ委員メンバーに感謝し、委員会報告とさせていただきます。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
3月26日	3月担当例会 「次世代について考える」 ～若者に歩み寄り～	旧料亭金勇	—
5月29日	5月担当例会 「青少年と関わりを持つ」 ～若者に歩み寄り～	Zoom /事務局	—
9月 9日	70周年記念研修事業 「スタートアップ」 ～未来の可能性を広げる～	Zoom /事務局	—
11月23日	11月担当例会・70周年記念事業 「70周年記念発信事業」 ～未来の可能性を広げる～	Zoom /事務局 能代高校	—
通年	天空の不夜城への参画、連絡調整 中止		—
通年	渉外事業への参画と事業対応 中止		—
通年	持続可能なLOMを実現する 会員拡大運動		—

決算

項目	金額
・3月担当例会「次世代について考える」 ～若者に歩み寄り～	49,582円
・5月担当例会「青少年と関わりを持つ」 ～若者に歩み寄り～	15,120円
・70周年記念研修事業「スタートアップ」 ～未来の可能性を広げる～	296,780円
・11月定例会70周年記念発信事業 「70周年記念発信事業」 ～未来の可能性を広げる～	288,415円
合計	649,897円

組織強靱化委員会

委員長 大森 啓正 畠山 慶太

委員会報告

2021年度組織強靱化委員会は、組織としての成長を目指して会員拡大運動、人材育成事業を展開するとともに、地域の産業の未来を切りひらくきっかけとなる70周年記念事業を開催してまいりました。

まずは、昨年度策定された中長期会員拡大計画に則り、組織の強靱化を目指して会員拡大運動を展開してまいりました。会員拡大の意識を高めるために全メンバーによる会員拡大実行委員会を組織し、チーム制による勧誘活動を導入し情報共有の円滑化を図りながら拡大運動に取り組みました。結果としては準会員1名の入会と、目標を大幅に下回る結果となりました。しかしながら、賛助会員1名、準会員2名が来年度より正会員となることが決まり、会員拡大運動と合わせて行った人材育成事業の成果であり、組織の成長に繋がったと感じております。

次に2月担当例会では、意識向上により自ら行動を起こせる会員の育成を目的に、「その先にある、まだ見ぬ世界へ～keep going～」を実施しました。JCI秋田OBである株式会社秋田スズキ石黒佐太郎氏を講師にお招きし、我々がなごんのために行動を起こすのかというお話を頂きました。信念を持ちJC運動や社業へ向き合うきっかけとなり、その後の活発なJC運動、社業発展へとつながる例会となりました。7月担当例会では会員拡大とJC運動の発信、同世代との交流を目的に異業種交流会を企画していましたが、コロナ禍の影響により中止となりました。しかしその後、対内事業として会員交流事業「留山登山～江戸時代から伐採を留めた山～」を実施いたしました。我々が住み暮らす能代山本地域には世界自然遺産「白神山地」がありますが体験する機会は多くありません。我々があらためて地域の魅力を体験し、知ることにより地域をよりよくする活動のさらなる飛躍につながったと感じております。また、非日常の中で会員同士の交流が図られ、より一層の一体感が生まれました。9月には、新入会員研修「理事会シミュレーション」を実施いたしました。模擬委員長として、議案作成と理事会への上程を体験する機会としました。議案作成にあたり、全3回の模擬委員会を設定し担当副理事長との議論を経てそれぞれの事業が構築されていきました。背景、目的を明確にすることで手法が定まることを学び、どの議案も地域を明るくできる素晴らしいものになったと感じております。JCでのそれぞれの役割を実感し、事業構築のおもしろさと難しさを体験することで今後の活動への意欲が高まる機会となりました。

組織強靱化委員会のもっとも大きな担いである70周年記念事業については、コロナ禍の影響により当初計画していた記念講演が中止となりました。しかしその後、「持続可能な地域に向けて～挑戦し続ける地域へ～」として、地域の産業の将来的な可能性を探り、持続可能な地域の実現を目指す講演会をディスカッション形式で行い、地域の皆様へむけて動画配信を行いました。「木材」「風力」「農業」

各産業の専門家をお招きし、現状から見据える未来、そして各産業同士の掛け合わせによる新たな価値の創造といったお話を頂きました。大きく変化していく時代の中で既存の考え方にとらわれることなく新たな挑戦を続けていくことで、よりよい未来を目指す必要性を実感するとともに、市民の皆様へ広くこの地域の可能性を示すことができたと確信しております。

最後になりますが、我々を委員長に任命してくださった伊藤理事長、ときに厳しくも懇切丁寧に、いつも我々の意思を尊重しながらご指導いただいた今野副理事長、そして両委員長を支え、忌憚なく熱い議論を交わすことができた委員メンバーの皆様へ感謝を申し上げます、委員会報告といたします。ありがとうございました。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
2月22日	2月担当例会 「その先にある、まだ見ぬ世界へ～keep going～」	能代市文化会館	-
7月25日	7月担当例会 「留山登山～江戸時代から伐採を留めた山～」	八峰町留山	-
9月28日	新入会員研修 「理事会シミュレーション」	シャトー赤坂	-
12月 6日	70周年記念事業 「持続可能な地域に向けて～挑戦し続ける地域へ～」	動画配信	○
通年	日本海夕日ラインネットワーク協議会への参画・連絡調整		○
通年	会員拡大運動		-

決算

項目	金額
・2月担当例会「その先にある、まだ見ぬ世界へ～keep going～」	38,510円
・7月担当例会「留山登山～江戸時代から伐採を留めた山～」	8,000円
・新入会員研修「理事会シミュレーション」	10,000円
・70周年記念事業「持続可能な地域に向けて～挑戦し続ける地域へ～」	10,956円
合計	67,466円

委員会報告

2021年度は創立70周年、第51回ブロック大会の主管と大きな節目にあたり、両事業を成功に導くためLOM一丸となって準備、開催に取り組んでまいりました。しかし、前年度より続くコロナ禍によって開催法の模索など多々戸惑うところもありましたが、いつでもできるように準備をしっかりと進めるという伊藤理事長の確固たる決意のおかげでメンバーもぶれずに前へ進むことができました。1年間で2つの大きな事業を開催した経験は、メンバー全員の自信にもつながり、さらには次の75周年に向けた原動力になったと確信しております。

まずは、各委員長が事務局からの修正要請に迅速に対応してくれたおかげもあり、適切な予算作成と財務管理を行うことができ、三役・理事会議においても活発な意見交換の場とすることができました。そして、6月には1月より延期していた70周年記念式典が開催され、事務局として全メンバーの想い一つに集結させるため伊藤理事長を先頭に実行委員会の補助に全力で取り組みました。さらに、7月には能代の地で第51回ブロック大会の開催、同時に褒章エントリーを行いました。褒章部門では昨年度コロナ禍においても実行することができた大規模な青少年育成事業「プリトラ!!ふるさとの自慢と夢をのせてどこまでも」が見事大塚賞を受賞しました。ブロック大会においては、各LOMから多くのメンバーが参加され、能代の地を堪能していただきました。全メンバーでおもてなしを行い、参加された他LOMメンバーの方々には昼夜問わず心に大きな爪痕を残せたと確信しております。また、6月と10月には毎年参加している黒松並木剪定に参加し、国道101号線上の黒松の手入れを行いました。今年度から剪定方法が変わり、事業の労力が増加しましたが参加したメンバーの達成感も同じく増加しました。そして、例年だと1月の京都会議に始まりサマコン、全国大会など各種大会へ多くのメンバーで赴き絆を深めるのが通例ではありましたが、昨年から続くコロナ禍により今年度も現地へ実際に行くことはできませんでした。しかし、各種大会ごとに事務局でパブリックビューイングを開き、現地へ行くことはできないものの大会の空気感を味わいながらセミナーなどの学びを得る機会を提供することができました。参加して下さったメンバーの方々には本当に感謝申し上げます。

最後に、運営などで至らぬ点多々あったとは思いますが、この一年間事務局として責務を全うできたのも、メンバーをはじめ、シニアクラブ先輩諸兄の皆さま、またそれぞれの家庭や仕事など能代青年会議所に関わってくださる方々の支えがあったからこそだと思っております。スタッフ一同より感謝を申し上げ年間事業報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
7月10日	褒章へのエントリー	能代市	—
9月24日	臨時総会	能代市文化会館 第5研修室 (Zoomとのハイブリット)	—
6月10月	黒松並木剪定	国道101号 線沿い	○
12月11日	卒業式	松風庵	—
通年	三役・理事会議		—
通年	対外事業への参画・対応		—
通年	出向者支援		—
通年	70周年記念事業		—
通年	会員拡大運動		—

決 算

項目	金額
・第51回ブロック大会の開催	96,910円
・12月定例会「卒業式」	46,500円
合計	143,410円